

平成 2 3 年度

地域密着型金融の取組み状況について
(平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月)



川口信用金庫

地域密着型金融の取組み実績（平成23年度）

当金庫は、お客さま目線に立った地域密着型金融の深化等を基本運営方針とする中期事業計画「かわしん ステップアップ90」に基づき、平成21年から3ヵ年の推進計画を策定し実践してきました。

3年目の平成23年度は、東日本大震災の発生、金融円滑化法の延長などの金融・経済環境を踏まえ、顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮など、以下の取組みを行ってまいりました。

1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

- 創業・新事業者等支援
- 経営改善・事業再生支援

2. 地域・社会貢献

- 地球環境問題
- 金融機能・サービス
- 地域活性化

3. 地域や利用者に対する情報発信

- 取組みの情報発信



1. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

重点項目	具体的取組策	取 組 実 績 (平成23年4月から平成24年3月)
創業・新事業者等支援	- 産学連携、日本工業大学寄附講座開講 - 創業・新事業、成長が期待される分野への資金支援 - 事後モニタリング実施による支援体制の整備 - 関係機関との連携	- 産学連携協定先の日本工業大学で、当金庫職員や企業経営者、税理士等を講師とする公開講座「創業の基礎」を開講(23.9～24.1)しました 受講者数 学部生 10 名、一般社会人 5 名 - 創業・新事業支援融資の取扱い アロング 6 件 1 7 百万円 (残高 3 2 件 4 9 百万円) 起業家育成資金 6 0 件 2 1 7 百万円 (残高 3 6 0 件 8 9 3 百万円) - 成長基盤3分野(環境・医療・介護・健康関連、保育・育児)の事業資金取扱い 地域応援資金「実」13件103百万円(残高 29件 195百万円) - 専任の審査役を配置し、アロング実行先の事業計画の進捗状況をモニタリングし、原因分析・計画修正など継続的に支援を行っています - 関東経済産業局、埼玉県中小企業振興公社、地元商工団体等と情報交換を行い関係強化に努めています - 埼玉県創業・ベンチャー支援センターの支援事業「彩の国ベンチャーマーケット」に協賛しています
経営改善・事業再生支援	- 財務診断サービスの充実 - 金融円滑化法の適切な対応と経営改善支援 (モニタリングの充実) (休日相談会) (経営改善計画) - 事業再生が必要な先への資金支援	- 経営改善の一助として企業診断資料を積極的に提供しています 提供件数2,751件(23年度目標 2,000件) - 金融円滑化対応委員会・部会の運営、通信教育講座等による実務者の養成など金融円滑化法に適切に対応しています (対応措置の状況はホームページに掲載しています) - 条件変更実施先に対し、毎月モニタリングを実施しています (経営改善支援先126先、簡易モニタリング先1,197先) - 休日相談会を毎月全店で開催しました - 支援実施者を選任し、1店舗1社を目標に新規支援対象先42先を選定、既存先を含め210先の経営改善計画を策定し支援の取組みを行っています (23年度目標180先、取組実績は別表のとおり) - 企業再生支援融資の取扱い サポート 21件 70百万円(残高212件 364百万円)



○ 日本工業大学「寄附講座」授業風景（H23.9～H24.1）

経営改善支援の取組み実績（平成23年度）

経営改善支援 取組み率	9.8%	期初債務者数（正常先を除く）2,140 先のうち、 210 先に対し経営改善支援の取組みを行いました
再生計画策定率	92.9%	経営改善支援取組み 210 先のうち、195 先に対し 再生計画を策定しました
ランクアップ率	3.3%	経営改善支援取組み 210 先のうち、7 先の債務者区 分がランクアップしました

（注）債務者数、経営改善支援取組み先は取引先企業（個人事業主を含む）としておりますので、個人ローン、住宅ローンのみの取引先を含んでおりません

2. 地域・社会貢献

重点項目	具体的取組策	取 組 実 績 (平成23年4月から平成24年3月)
地球環境問題	・環境配慮型機器・設備の積極的導入 ・環境関連金融商品を通じた環境・地域貢献活動への貢献 ・ISO14001 取得企業としての目的・目標の達成 ・エコ通勤優良事業所に認証	・LED照明・レフボ（高効率反射板）への切り替え、ハイブリッド車の導入を計画的に進めています。本店他5店舗に「デマンドシステム」を設置し、電力節減に努めています ・環境クリーン定期預金を通じ、「彩の国みどりの基金」に5百万円の寄付を行いました ・エコカー購入資金 163件 308百万円（残高559件 692百万円） ・青空再生資金 2件 10百万円（残高 32件 91百万円） ・ISO認証取得資金 0件 —（残高 2件 5百万円） ・環境保全活動の削減目標と実績 - 電力使用量 実績 15.8%削減（目標14年度対比13.9%削減） - 廃棄物 実績 20.9%削減（目標14年度対比12.5%削減） - 紙使用量 実績 29.8%削減（目標14年度対比15.5%削減） ・川口市主催の「エコライフDAY2011」「チャレンジエコライフ」に本部営業店から多くの職員が参加しました ・「かわしん環境活動報告書 第5号」を発行、環境情報の提供により地域の環境意識の啓蒙を図っています ・当金庫はマイカー通勤を昭和54年7月より禁止しており、公共交通機関利用などの長年に亘る取組みが評価され、平成24年2月、国土交通省が事務局となっている「公共交通利用推進等マネジメント協議会」により全店舗が「エコ通勤優良事業所」に認証・登録されました

重点項目	具体的取組策	取 組 実 績 (平成23年4月から平成24年3月)
金融機能・サービス	・視覚障がい者等に配慮した取組みの推進 ・利用者のニーズに即した金融商品の開発・提供 ・金融機能・サービスの充実 ・2級ファイナンシャル・プランニング技能士の養成 ・年金・税務相談会	・視覚障がい者対応ATMを14台増設しました（設置済 30店舗、47台） ・営業店に点字ブロックの敷設を進めています（設置済 20店舗） ・その他にやさしい店舗づくりを計画的に推進しています バリアフリー化、クリアボイス・筆談ボード全店設置など ・AED（自動体外式除細動器）を全店舗に設置しました ・東日本大震災の被災信用金庫のお客さまにかかる預金の代払い、口座開設等柔軟に対応しました ・震災の復旧・復興と被災者支援を目的に、復興支援定期預金「希望」や震災遺児支援定期預金「子どもは宝」を発売しました ・トークン（ワンタイムパスワード）、生体認証付ICキャッシュカードの拡充により防犯、セキュリティの強化に努めています ・インターネットバンキングによる電子証明書サービス（法人向け）を開始しました ・資産相談に活用するため、2級ファイナンシャル・プランニング技能士を養成しています（現在141名） ・年金相談会を各店舗で年2回、税務相談会を本店で毎月2回開催しました
地域活性化	・かわしん経営塾の充実 ・ビジネスマッチングの推進 ・地域振興協賛 ・産学連携 ・中小企業の景気動向や特別調査の実施 ・各種の地域情報を収集	・西部地区に続き、東部地区に二つ目の「かわしん経営塾」を立ち上げました セミナーの開催などで、若手経営者や次世代後継者を支援してまいります ・広域商談会「ビジネスアリーナ 2012」を共催し、技術力のPR、販路拡大の新たなビジネスチャンスを目指して取引先企業16社が出展、多くの商談が寄せられました ・地域のスポーツ振興として「川口市民マラソン」を協賛しています ・産学連携協定締結先とセミナーの開催など連携を深めています （締結先 東洋大学、日本工業大学、埼玉県立大学 ： 協議会参加 埼玉大学） ・当金庫取引先309社を対象に景気動向調査を年4回実施し、地域の動向把握に努めています ・地元「商店街」の現状と課題等についてヒアリング調査を行い、45の商店街から回答を得ました。今後「商店街」の活性化策の資料に活用します



○ ビジネスアリーナ 2012 商談風景
(平成24年1月)



○ 東部地区「かわしん経営塾」
(平成24年3月)



○ 西部地区「かわしん経営塾」
(平成24年3月)

3. 地域や利用者に対する情報発信

重点項目	具体的取組策	取組実績 (平成23年4月から平成24年3月)
取組みの情報発信	・ ホームページ・ディスクロ誌による情報発信 ・ 環境活動報告書の発行 (年1回) ・ 景況レポートの発行 (年4回)	・ 年度、半期のディスクロージャー誌に、地域密着型金融の推進計画と毎年の取組み実績を掲載しています。ホームページにも掲載しています ・ ホームページで、新着情報やキャンペーン商品、地域貢献活動状況などタイムリーに発信しています ・ 当金庫の環境方針、環境問題への取組み状況を広く理解していただくことと環境意識を高めていただくため、「かわしん環境活動報告書」を毎年定期的に発行しています。ホームページにも掲載しています ・ 当金庫取引先309社を対象に景気動向やタイムリーな話題を取り上げた特別調査を四半期ごとに実施し、企業動向や地域社会の動向等を「かわしん景況レポート」として発行しています。ホームページにも掲載しています